


事業番号	15 02 01	事業改善シート（令和3年度実施事業分） ■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	教員志願者採用選考・職員研修費	部局	教育委員会事務局	課・室	義務教育課
		実施期間	S26 ～	E-mail	gimukyo@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	1-2 地域とともに取り組む楽しい学校づくり				

1 現状と課題

目指す姿 ・ これまでの取組	【目指す姿】 ・人物の多面的かつ客観的な評価を行い、教員としての適性や一般社会人としての資質を適正に見極め、優秀な教員を確保する。 ・配置にあたってはブロックごとの年齢構成等のバランスに配慮する。 ・事務職員及び栄養教諭にキャリアに応じた研修を実施し、資質向上に努める。	
	【これまでの取組】 ・民間人面接官を起用し、多面的・客観的評価を実施 ・リーフレット「信州の先生になろう」を作成し、教師の魅力を発信 ・銀座NAGANOで関東圏の学生向けに説明会を実施 ・新規採用、中堅、役付等の事務・栄養職員を対象に研修を実施（令和2年度）	
令和2年度 点検結果 ・ 現状分析	課 題 ・「新たな社会を創造する力」を育む教育を推進するとともに、「探究的な学びや、校外外での様々な活動に対して、積極的に取り組むことのできる」、また、「豊かな人間性と確かな人権意識を有し、児童生徒・保護者・地域・同僚と協働できる」教員の採用 ・教員の年齢構成バランスに配慮した配置 ・コロナ禍における説明会の実施方法を検討 ・受講者の職歴・能力に応じた、より効果的な研修内容を企画	今後の方向性 ・探究的な学びを意識した模擬授業や、心理学等の専門的知見も踏まえた面接を実施。 ・コロナ禍における説明会の実施方法として、オンラインによる説明会を開催し、優秀な人材の確保に努める。 ・令和2年度から実施しているブロック別の採用について、効果を検証しながら進めていく。 ・受講者が修得すべき知識・技能を見極め、各研修に反映させるとともに、受講生が主体的に参加できる研修を取り入れていく。

2 令和3年度事業内容

予算のポイント・ 主な取組(予定)	✓ 優秀な教員を確保するための採用選考の実施 ・心理学的、科学的な知見を活かしながら、教員としての適性や一般社会人としての資質を適正に見極めるための面接等を拡充 ・引き続き民間人面接官を起用し、多面的・客観的評価を実施	
	✓ オンラインを活用した説明会の実施 ・オンラインでの採用選考説明会を推進し、全国の学生に広く参加を呼びかけ、優秀な人材の確保に努める（拡充） ・高校生を対象とした説明会を計画し、若手教員との懇談を通して教師の魅力を発信	
	✓ 職員の主体性を育む研修の実施 ・大学講師やホテル支配人等、異業種の講師を招き、外部環境の変化を自ら把握し、自律的に行動できる職員を育成	

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]						区分(単位:千円)			
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末(見込)	R3年度目標値	前年度繰越	R1年度	R2年度	R3年度
1	今後の実務に生かせる研修内容であったと回答した受講者の割合				80%		0	0	要求 8,174 予算案 —
2							6,023	6,171	
3							0	0	
4							6,023	6,171	要求 8,174 予算案 —
5							6,023	6,171	要求 8,174 予算案 —
						決算額(B)	6,023		
						職員数(人)	3.0	3.0	3.0
成果指標 設定理由	研修内容が学校事務や学校運営等の実務に生かされるものになっているかを確認できる指標であるため。								

事業番号	15 02 01	事業改善シート（令和3年度実施事業分）		<input checked="" type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検		
事業名	教員志願者採用選考・職員研修費		部局	教育委員会事務局	課・室	義務教育課

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算	
1	教員志願者採用選考・職員研修費	6,023 千円	6,171 千円	要求 8,174 予算案 — 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)		
1	教員採用選考の実施	直接	民間人面接官を起用する等、多面的・客観的評価を行い、より優れた人材の確保に努める。		
2	事務・栄養職員研修の実施	直接	大学講師やホテル支配人等、異業種の講師を招き、外部環境の変化を自ら把握し、自律的に行動できる職員を育成する。		